

## 居合道部 30 年の歩みを振り返って

神奈川県剣道連盟居合道部  
部長 福井清市

神奈川県剣道連盟居合道部が関係各位のご努力のもと、めでたく創立 30 周年を迎えたことを心よりお喜び申し上げます。

組織としての居合道の活動をさかのぼって尋ねますと、昭和 34 年ごろ、山蔦重吉氏（故人）を中心に居合の有志が集まって稽古をはじめたのがそもそものはじまりのようであります。その後、神奈川県居合道発展のために、斎藤勇氏の肝煎りによって、「第一回全神奈川居合道祭」が昭和 38 年 2 月 24 日に旧県立武道館において開催されましたが、そのときの参加者は 70 数名とあります。さらに翌 39 年 4 月 25 日に「第二回全神奈川居合道祭」が催され、神奈川県に居合道の組織的な活動が根を下ろし、現居合道部の濫觴となったのであります。

昭和 40 年 6 月 15 日に横浜公武会長島五郎（故人）、矢野勝則（故人）、妻木正麟、小林武男（故人）、石堂定太郎、紀野実（故人）の各氏のご尽力により、簡略な内規のもとに山蔦氏を会長とする神奈川県居合道研究会が発足しまして、初代理事長に長島五郎氏、事務局長に紀野実氏が就任さ



初期の審査風景

れました。2 年後の役員改選で、妻木正麟氏が理事長に就任し、事務局長に福井清市が就任しました。

そして昭和 47 年 4 月、居合道研究会が発展解消して神奈川県剣道連盟居合道部となり、神奈川県剣道連盟の一翼としての現居合道部の創立をみたのであります。同年 7 月 1 日には県剣連居合道部事業運営規則が施行され、居合道部代表として矢野勝則氏が県剣連理事に就任しました。

その翌年の昭和 48 年の役員改選では、居合道部長に山蔦重吉氏（初代部長）、副部長に野村佐吉氏（故人）、伊澤善作氏（故人）、和田八郎氏（故人）、妻木正麟氏、委員長に石堂定太郎氏、副委員長に福井清市が就任し、この体制のもとで、6 年後の昭和 54 年に神奈川県剣道連盟が主幹することになった全日本居合道大会の準備に入りました。

居合道部の 30 年の歩みをふり返るとき、昭和 50 年代後半から大きく発展していますが、その「発火点」となったのがこの昭和 54 年の全国居合道大会の成功でありましょう。

昭和 54 年の 6 月、全剣連主催の制定居合講習会



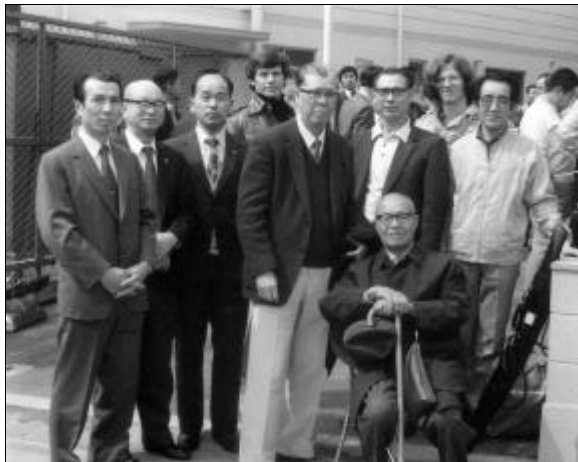
第 5 回全日本居合道大会（前列左より 妻木正麟氏、秋元繁氏、石堂定太郎氏、後列左より 山蔦重吉氏、野村佐吉



前列左より 紀野実、矢野勝則、和田八郎、小林武男、石堂定太郎、妻木正麟の各氏（箱根早雲寺にて）



箱根早雲寺奉納演武（昭和49年 左 福井清市氏 右 秋元繁氏）



第5回関東地区選抜居合道大会にて（最前列 山蔦重吉氏 その左へ向かって 小林武男、秋元繁 一人おいて横田孝雄の各氏）

が東海大学武道場で開催されましたが、この講習会を県剣連が主管し、居合道部は委員長石堂定太郎氏の指揮のもと運営全般に関わり講習会成功に大きく寄与しました。居合道部はその自信と勢いをもって、昭和48年以来6年の歳月をかけて準備を進めてきた全日本居合道大会（10月28日開催）に臨み、箱根小涌園グリーンパレス体育館に

おいて立派にその責任を果たすことができました。加えて、大会における神奈川県の手順もめざましく、七段の部で石堂倭文氏が優勝、六段の部で七五三掛保夫氏が3位、五段の部で畠山耕吉氏が優勝し、みごとに団体優勝を勝ち取ったのであります。

この全日本居合道大会の成功の後、昭和55年の役員改選で、名誉部長に山蔦重吉氏、顧問に野村佐吉氏、伊澤善吉氏、部長に和田八郎氏、副部長に妻木正麟氏、同小林武男氏、同石堂定太郎氏、委員長に福井清市が就任しました。

昭和56年、妻木正麟部長の時代が始まると、講習会が定例の行事として開催されることになり、居合道の事理について会員は定期的に指導を受けることができるようになりました。また、この年から神奈川県居合道大会が始まりました。

さらに、平成元年には石堂定太郎氏が部長に、副部長兼委員長に福井清市、副委員長に秋元繁氏が就任し、指導陣の研究体制の強化に力を注ぎました。その結果、講習等における指導内容は一段と充実したものになりました。会員も居合道の事理について個人的に研究課題を持つ習慣が身につくようになり神奈川県の居合道が質的に向上してきました。またこの頃から、学生会員と女性会員が増加し、講習会場が次第に手狭になり、県立武道館の大剣道場だけでは足りず、時には小道場も使用するようになってきました。

会員の増加に伴い高段者も順次増加し、講習会等を質量両面において充実させて欲しいとの要請が出てきました。この要請に応えるためには、財源



講習会風景（平成11年 県立武道館にて）

を県剣連に依存していた體質をあらためて、居合道部が財政的に自立して講習会等の運営を主体的に行えるようにする必要がありました。委員会において検討した結果、講習会の有料化が決定され、会員の理解もあって、平成2年ごろから有料による講習会が実施の運びとなりました。これにより講習会の開催機会が増加し、会員の拡大に拍車がかかり、高段者もまたさらに多くなり、居合道部は質量両面で全国的水準に照らして大変充実したものと成長しました。

平成9年、福井清市が石堂定太郎氏から引き継いで部長に就任し、大所帯となってきた居合道部の運営機能のより充実化を図るために、居合道部委員に若手の人材登用を図り、従来の庶務、研修、会計、審査登録担当の常任委員に加えて企画担当、大会担当、広報記録担当を置くなど役員組織の改革を進めました。

対外的な活動をふり返ってみますと、平成3年から5年までの3年間、「武道推進指定校」に指定され、男子に剣道、女子に居合道を取り入れることを決めた県立橋本高校に体育科教員に対する居合道の指導に居合道部委員を派遣しています。その関係から同校は現在全国で唯一、女子の体育授業に全学年正課として居合道を取り入れている高校となっています。多くの女子生徒は積極的に審査に挑戦して有段者も生まれ、大学生や社会人になってからも居合道の稽古を継続している方が多数います。

平成5年5月28日に箱根神社武道場新設記念事業の「曾我兄弟八百年大祭記念全国選抜八段戦」



五段以下審査会（平成11年 県立武道館にて）



神奈川県居合道大会（平成12年 松田町体育館にて）



上3点 神奈川県剣道連盟居合道部30周年記念居合道大会より



昭和55年の居合道部役員一覧表

が開催されましたが、当大会は翌年以降、「居合道全国選抜八段戦」として第1回大会と同じ5月28日に毎年開催されています。居合道部は大会の運営全般を主管していますが、全国で唯一八段が試合に臨む当大会は、現在では、全剣連の全国居合道大会は別にして、わが国の居合道界で最も注目される大会となっています。

さらに平成14年9月21日(土)居合道部創立30周年記念事業として、東日本ではこれまで最大規模の「神奈川県剣道連盟居合道部30周年記念居合道大会」(記事別掲)を横浜文化体育館において開催し、全国から集った約1000名の剣士とともに居合道部30年の歩みを祝いました。

居合道部30年の発展は、神奈川県剣道連盟の支援と、居合道部の初代部長山蔦重吉氏、2代部長和田八郎氏、3代部長妻木正麟氏、4代部長石堂定太郎氏をはじめ、居合道部の過去および現在の各役員の献身的な指導、そして居合道部会員の稽古鍛錬と団結力の賜です。この熱意と団結力が今後も維持されて居合道部がさらに成長発展されることを心から願ってやみません。



福井部長奉納演武(箱根八段戦前年祭 平成4年5月)



第11回居合道全国選抜八段戦箱根大会(平成15年 箱根神社武道場)

#### 歴代役員一覧

##### 会長・部長

就任年月日	役職	氏名	組織	任期
昭和40年6月	会長	山蔦重吉	研究会	7年
昭和47年4月	部長	山蔦重吉	居合道部	8年
昭和55年4月	部長	和田八郎	同上	1年
昭和56年4月	部長	妻木正麟	同上	8年
平成元年4月	部長	石堂定太郎	同上	8年
平成9年4月	部長	福井清市	同上	

##### 理事長・委員長

就任年月日	役職	氏名	組織	任期
昭和40年6月	理事長	長島五郎	研究会	2年
昭和42年6月	理事長	妻木正麟	同上	5年
昭和48年4月	委員長	石堂定太郎	居合道部	7年
昭和55年4月	委員長	福井清市	同上	